

「プリンタフォントの有無」を考える

■PDFファイルをつくる時は「Printer Fonts」を外す

「プリンタフォントの有無」の情報が正常でも問題がおこるケース、それはPDFファイルを作成する場合だ。

PDFファイルを作成するには、QuarkXPressからPSファイルを書き出し、それをAcrobat DistillerでPDFにするのが通常の手順だ。

「プリンタフォントの有無」の機能が有効である時、プリンタフォントがないものは、PSファイルを書き出す際にQuarkXPressが直接ラスライズすることになる。その結果、できあがるPDFファイルのテキストはフォントではなくラスタ画像（ビットマップ画像）となる。

しかし、XTensionフォルダから「Printer Fonts」を外して「プリンタフォントの有無」機能を無効にすると、QuarkXPressはラスライズをしないので、PSファイルもフォントデータで作成される。よってPDFファイルもテキストは正常なフォントになるというわけだ。

